

# 山行報告書

作成:2011年1月9日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	赤岳鉱泉・ジョウゴ沢～硫黄岳 [ハケ岳]	目的[方法]	アイスクライミングの体験、練習
期間	2011年1月4日(火)～5日(水)	形態	小屋泊
参加人数	2人		

## 行動記録:

◇ 1/4(火)

Yさん宅(500) == 豊田東IC(515) == 駒ヶ岳SA(640,700) == 諏訪南IC(740) == 赤岳山荘PKG(810,840) -- 赤岳鉱泉(1010) アイスクャンディーにて練習(1100～1640)

◇ 1/5(水)

赤岳鉱泉(735) -- ジョウゴ沢出会(745) -- F1(755) -- F2 -- F3 -- ナイアガラの滝(1030) -- 本谷大滝(1040) -- 硫黄岳(1340) -- 赤岳鉱泉(1450) -- 赤岳山荘PKG(1610,1630) == 河原の湯(1700,1740) == 諏訪南IC(1800) == 駒ヶ岳SA(1840,1900) == 豊田東IC(2030) == Yさん宅(2050)

## 概念図:



## メモ:

- ◆ 高速代  
豊田東IC～諏訪南IC ￥3750
- ◆ 赤岳山荘PKG 1日 ￥1000
- ◆ 河原の湯 ￥400  
(0266-79-6162)
- ◆ 赤岳鉱泉 一泊二食 ￥9000
- ◆ アイスクャンディー登録料 ￥1000
- ◆ ギアレンタル 各￥500  
(アックス、アイゼン)

## 日誌:

赤岳山荘PKGまでYさんの4駆で入る、林道は圧雪され所々氷結していきつい坂もある、私の2駆ならスタックしているかもしれない？ 広い駐車場には10台くらいは停まっている、準備をして出発。1時間半で赤岳鉱泉に到着、早速アイスクャンディーで練習を始める。まず基礎をYさんから習う、トップロープなので安心だ。氷にアックスが上手く刺さると気持ち良く登れるが氷が割れてしまい上手いかない、何本か登るうちに少しは様になってきた、16時半頃までたっぷり練習し、小屋に戻る。赤岳鉱泉は初めてだが綺麗で広くて快適だ、夕食までのんびりくつろぐ。

翌朝、天気は良い、20分程でジョウゴ沢F1に着く、ここは5mくらいの緩傾斜でなんなくクリア、F2は氷が薄い感じで水流の音がする、危険そうなので巻く。F3を越えすぐ右に20mくらいの大滝を横目に進み、右岸支流のナイアガラの滝に着く。垂直に近く、10mくらいで氷が青く美しい、支点も整備されていてトップロープで3本くらい練習する。その後本流に戻り、本谷大滝25mに取り付くが最初の10mが厳しい、Yさんが巻き道を探すが断念、敗退も頭をよぎるが再度挑戦しクリア、Yさんのガッツはすごい。続く私もビレーしてもらいなんとかクリア。これでアイスクライミングは終わり、谷筋を詰め稜線を目指す。上部は岩場で抜けるのに少し苦労したが、出たところがちょうど硫黄岳山頂だった。強風でとても寒かったが非難小屋に這いつくばって入り小休止。下山は登山道を使う。ジョウゴ沢から鉱泉への帰りまで人に会わずの私たちのパーティーだけだった。